

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
1 こどもたちが笑顔で育つ熊本 (施策1) こども・若者がキラキラ輝く社会づくり 施策1-①「こどもまんなか熊本」の実現とこども・若者のライフステージに応じた支援	11,200	11,200	1 公営住宅ストック総合改善事業 県営住宅について、子育て世帯に対応した住戸の改修を行った。 ・県営住宅における「子育て支援型住戸」を4戸設置 2 空家等対策総合支援事業 空家の有効活用による地域資源を利用した持続可能な地域づくりを促進するため、空家をこども子育て世帯向け施設等に改修する市町村に対して、補助を行った。 ・空家活用促進モデル事業（こども子育て枠） 1町 1件	住宅建設費のうち P355 ～ P356
2 世界に開かれた活力あふれる熊本 (施策1)「くまもとで働く」人材の確保・育成 施策1-②様々な分野の人材確保	38,667	32,979	1 建設産業担い手確保・育成事業 (1) 「建設産業の力」発信事業 若年者の人材確保を図るため、行政、業界団体、教育機関が一体となったイベントや広報を実施した。 ・高校生向け建設産業ガイダンスの開催：558人 ・工業高校オープンキャンパスの支援 ・高校生の現場見学及び現場実習への補助 ・県内建設企業の女性の活躍推進への補助 (2) 建設産業働き方改革・人材育成事業 若年者の人材確保・育成を図るため、高校生や従業員の認定訓練受講、建設企業等の働き方改革推進、研修体制構築に要する経費の一部を補助した。 ・高校生の資格取得交通費支援：262人 ・高校生の小型車両系建設機械講習：257人 ・初任者の実務研修支援：7人 ・企業の働き方改革推進への補助：13件 (3) 建設産業若手人材確保緊急対策事業 県内建設産業の担い手確保に向けて、主に高校生を対象とした「建設企業魅力発見フェア」を開催した。 ・令和7年6月10日、グランメッセ熊本にて開催 ・参加建設企業62社、参加者約780人	建設業指導監督費のうち P325 ～ P326

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策2) 世界に伍する産業拠点熊本の創出 施策2-①半導体を中心とした新たな産業 基盤の構築	20,252,646	10,876,777	1 国直轄事業負担金 幹線道路ネットワークの横軸となる中九州横断道路について、令和7年度に「熊本環状連絡道路」が事業化され、令和8年4月には「大津西IC～下硯川IC」間に有料道路事業の導入が決定された。また、「滝室坂道路」については、令和8年度開通に向けて工事を促進した。「大津熊本道路」、「竹田阿蘇道路」においても工事を促進するとともに、「大津道路」の調査設計を促進した。 2 地域道路改築費 セミコンテクノパーク周辺における半導体関連企業集積に伴う新たな交通需要に対応するため、将来の基幹となる道路ネットワークの中から、大津植木線の多車線化及び合志ICアクセス道路等を優先し整備を推進した。 大津植木線多車線化及び合志ICアクセス道路については、令和10年度完成に向け、用地買収を推進するとともに、令和7年9月に着工式を開催し、JASME前の大津植木線多車線化及び菊陽空港線との交差点部の道路改良工事に着手した。 一般県道新山原水線（都市計画道路菊陽空港線）は、令和8年度完成に向けて、道路改良工事やJR豊肥線をまたぐ橋梁の工事等を進め、橋梁上部工桁の架設工事が完了した。	道路橋りょう総務費のうち P329 ～ P330 道路新設改良費のうち P332 ～ P334
施策2-③地域経済の振興	575,000	322,352	1 物流拠点機能向上事業 コンテナターミナルの機能向上を図るため、八代港では、コンテナターミナルの拡張(A=1.0ha)に向け、拡張部の工事に着手した。	港湾整備費のうち P442 ～ P443

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名								
(施策3)「食のみやこ熊本県」の創造 施策3－②稼げる農林畜水産業の実践	176	88	1 木造設計アドバイザー普及事業 県内市町村が発注する木造建築物の設計に際して、県産木材の利用促進及び質の高い建築物の整備につなげるため、専門性の高い木造設計アドバイザーを派遣した。 ・「飽田東小学校児童育成クラブ」(熊本市)	土木総務費のうち P324								
(施策4) スポーツ、観光、文化芸術の振興 施策4－①スポーツ政策の推進	2,199,535	1,424,836	1 道路施設保全改築費(自転車走行空間整備) サイクルツーリズムを推進するため、安全な自転車走行空間の整備として、路面表示、道路標識及び自転車通行帯の整備等を県内一円で行った。 また令和8年3月に開催されたナショナルサイクルルート審査委員会において「あまいち」サイクルルート(宇城市～天草市)が、ナショナルサイクルルート候補として選定された。	道路新設改良費のうち P332 ～ P334								
施策4－②観光振興	445,265	303,506	1 くまもとアートポリス推進費 「くまもとアートポリス」では、社会の変化に適応しながら、地域の活性化に資する熊本独自の豊かな生活空間を創造するため、地域とのつながり、地元建築産業との連携、人材育成等を重視した取組みを行った。 <table><tr><th>事 業 名</th><th>内 容</th></tr><tr><td>プロジェクト事業(設計者等を推薦)</td><td>完成プロジェクト2件(球磨村みんなの家、高橋酒造田野蒸溜所・交流施設)</td></tr><tr><td>顕彰事業(くまもとアートポリス推進賞)</td><td>推進賞4件、推進賞選賞3件</td></tr><tr><td>企画・広報・人材育成事業</td><td>シンポジウム(モク活2025)の開催、こども建築塾の実施、広報の実施等</td></tr></table>	事 業 名	内 容	プロジェクト事業(設計者等を推薦)	完成プロジェクト2件(球磨村みんなの家、高橋酒造田野蒸溜所・交流施設)	顕彰事業(くまもとアートポリス推進賞)	推進賞4件、推進賞選賞3件	企画・広報・人材育成事業	シンポジウム(モク活2025)の開催、こども建築塾の実施、広報の実施等	土木総務費のうち P323 ～ P325
事 業 名	内 容											
プロジェクト事業(設計者等を推薦)	完成プロジェクト2件(球磨村みんなの家、高橋酒造田野蒸溜所・交流施設)											
顕彰事業(くまもとアートポリス推進賞)	推進賞4件、推進賞選賞3件											
企画・広報・人材育成事業	シンポジウム(モク活2025)の開催、こども建築塾の実施、広報の実施等											

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名															
(施策 4－②観光振興)			2 緑のウェルカムプロジェクト 本県を訪れる方々を緑の景観で迎えることで、新たな観光客やリピーターの呼び水とするため、交通の拠点と観光地をつなぐルート上等の道路植栽の改善や都市公園植栽の再整備等を推進した。 <table><tr><th>事 業 名</th><th>決 算 額</th><th>箇 所 名</th></tr><tr><td>単県沿道景観整備事業（道路保全課）</td><td>175,229</td><td>県内一円</td></tr><tr><td>単県河川環境整備費（河川課）</td><td>75,253</td><td>坪井川遊水地</td></tr><tr><td>公園整備促進事業費（都市計画課）</td><td>27,168</td><td>熊本県民総合運動公園外</td></tr><tr><td>単県都市公園環境整備事業（都市計画課）</td><td>16,228</td><td>熊本県民総合運動公園外</td></tr></table>	事 業 名	決 算 額	箇 所 名	単県沿道景観整備事業（道路保全課）	175,229	県内一円	単県河川環境整備費（河川課）	75,253	坪井川遊水地	公園整備促進事業費（都市計画課）	27,168	熊本県民総合運動公園外	単県都市公園環境整備事業（都市計画課）	16,228	熊本県民総合運動公園外	道路維持費のうち P330 ～ P332 河川改良費のうち P338 ～ P339 都市公園費のうち P352 ～ P353
事 業 名	決 算 額	箇 所 名																	
単県沿道景観整備事業（道路保全課）	175,229	県内一円																	
単県河川環境整備費（河川課）	75,253	坪井川遊水地																	
公園整備促進事業費（都市計画課）	27,168	熊本県民総合運動公園外																	
単県都市公園環境整備事業（都市計画課）	16,228	熊本県民総合運動公園外																	
(施策 5) 交通の利便性向上 施策 5－①交通渋滞解消	415,709	242,404	1 単県道路改築費 熊本県新広域道路交通計画（令和 3 年 6 月策定）において高規格道路として位置付けた熊本都市圏 3 連絡道路の具体化に向け、令和 8 年 3 月 31 日の「第 3 回熊本都市圏道路有識者委員会」では、3 連絡道路が果たすべき役割である政策目標の妥当性を確認した。 今後、政策目標や技術的検討を踏まえ、合理的かつ実現可能な複数のルート帯を令和 8 年度中に提示した上で、改めて意見聴取を行い、ルート帯や主な道路構造等、概略計画の決定に向けた調査・検討を促進する。 2 熊本都市圏渋滞対策事業 令和 6 年に設置した「熊本県渋滞解消推進本部」で定めた対策方針に基づき、都市圏の交通渋滞対策解消に向けた渋滞対策の検討や対策完了箇所における効果検証等を実施した。 都市圏南部の渋滞対策として、県道小川嘉島線や六嘉秋津新町線等の改良やバイパス計画策定に向けた取組みを推進した。また、渋滞緩和に即効性のある短期対策として、交差点改良や信号制御の最適化に取り組んでおり、熊本大津線等の 3 箇所の交差点において対策が完了し、6 箇所の工事に着手した。 3 単県交通安全施設等整備費 熊本都市圏の渋滞対策として、県道住吉熊本線の右折レーン延伸や、国道 387 号のバスベイ設置等を推進した。	道路新設改良費のうち P332 ～ P334 道路新設改良費のうち P332 ～ P334 街路事業費のうち P351 ～ P352															

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
施策 5－②交通体系の見直し	16,502,899	15,014,778	1 国直轄事業負担金、道路改築費 物流の効率化・人流の円滑化等を図るため、幹線道路の整備を実施した。 (1) 九州中央自動車道 幹線道路ネットワークの横軸となる九州中央自動車道について、「蘇陽五ヶ瀬道路」の工事、及び「矢部清和道路」の調査設計を促進した。 (2) 南九州西回り自動車道 幹線道路ネットワークの縦軸となる南九州西回り自動車道について、水俣～県境間の工事を促進した。また、芦北出水道路の令和10年度の開通見通しが公表された。 (3) 中九州横断道路 幹線道路ネットワークの横軸となる中九州横断道路について、令和7年度に「熊本環状連絡道路」が事業化され、令和8年4月には「大津西ⅠＣ～下硯川ⅠＣ」間に有料道路事業の導入が決定された。また、「滝室坂道路」については、令和8年度開通に向けて工事を促進した。「大津熊本道路」、「竹田阿蘇道路」においても工事を促進するとともに、「大津道路」の調査設計を促進した。 (4) 熊本天草幹線道路 県土の横軸となる熊本天草幹線道路について、国施行区間である「宇土道路」の「糖塚山トンネル」が、令和7年3月に竣工した。また、「熊本宇土道路」の工事、及び「宇土三角道路」の調査設計を促進した。県施行区間については、「大矢野道路」の「新大矢野トンネル」が、令和8年1月に竣工した。また、「本渡道路Ⅱ期」の調査設計を推進した。 (5) 有明海沿岸道路 九州における循環型ネットワークの一部を形成する有明海沿岸道路について、「三池港ⅠＣ連絡路」の工事、及び「荒尾道路」の調査設計を促進した。また、令和7年3月には、「長洲町～玉名市」間において、2回目となる計画段階評価の審議が行われた。	道路橋りょう総務費のうち P329 ～ P330 道路新設改良費のうち P332 ～ P334

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
施策 5－③熊本空港の活性化	12,038,211	8,105,247	1 地域道路改築費 国道 443 号多車線化については、用地買収及び道路改良工事を推進するとともに、(仮)新上村橋の下部工工事に着手した。 また、堂園小森線については、残る区間 (L=1.5 k m) の用地買収及び早期完成を目指し工事を推進した。 2 街路整備事業のうち県道熊本高森線 ((都) 益城中央線外 1 線) 熊本都市圏東部地域の復興に向けて取り組む県道熊本高森線 ((都) 益城中央線外 1 線) の街路整備事業について、令和 8 年 3 月に事業区間全線の 3.8km で 4 車線化を実施した (令和 8 年 3 月 20 日に供用開始)。	道路新設改良費のうち P 332 ～ P 334 街路事業費のうち P 351 ～ P 352
3 いつまでも続く豊かな熊本 (施策 2) 移住定住、関係人口創出 施策 2－①移住定住、UIJ ターンの促進	5,642	5,374	1 空家等対策総合支援事業 空家の有効活用による地域資源を利用した持続可能な地域づくりを促進するため、空家対策を進める市町村に対して、補助を行った。 ・空家活用促進モデル事業 2 村 2 件 ・空家対策専門家活用支援事業 12 市町村 延べ 65 人	住宅建設費のうち P 355 ～ P 356
施策 4－③動物愛護の推進			1 県営住宅におけるペット同居の可能性の検討 ペット共生住宅の試行について、既入居者との協議 (飼育ルール等) や説明、同意のもと、令和 8 年 3 月に入居者募集を開始した。	

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策1)「緑の流域治水」を核とした創造的復興 施策1－①「緑の流域治水」の更なる推進 による一日も早い安全・安心の実現	84,586,766	38,823,934	1 地域道路改築費、単県道路改築費 (1) 五木村振興計画の推進 五木村振興計画の早期実現に向け、国道445号や県道宮原五木線等において、年間を通じて安全・安心に利用できる道路環境の整備に取り組んだ。 国道445号では、五木村内の九折瀬工区のほか、美里・山都町方面の五家荘工区や早楠工区、人吉方面の上下坂工区等の道路改良工事、及び斜面对策工事を推進した。 県道宮原五木線の椿工区では、五木村振興計画に掲げる村内の新規道路改良事業として初めて一部道路拡幅が完了した。 また、県道小鶴原女木線をはじめとする村内県道についても、道路改良等の工事を推進した。 (2) 相良村振興策の推進 相良村振興策の推進に向け、国道445号の相良バイパスや、上下坂工区の道路改良事業に取り組んだ。 相良バイパスでは、用地買収、工事着手に向け、地元説明会を開催し地元の意見を聞きながら、道路詳細設計を完了させるなど事業を推進した。 2 土地区画整理事業 災害からの復興に向けて取り組む人吉市青井地区の被災市街地復興土地区画整理事業について、令和8年3月までに、全体の約9割となる93画地で宅地造成工事に着手し、約1割となる8画地を地権者に引き渡した。	道路新設改良費のうち P332 ～ P334 土地区画整理費のうち P349 ～ P351

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名														
(施策1－①「緑の流域治水」の更なる推進 による一日も早い安全・安心の実現)			3 球磨川水系の河川整備等 令和2年7月豪雨により被災した球磨川流域の早期復旧を図るため、河川整備を推進した。 中園川（球磨村）について、令和7年7月に宅地かさ上げが完成した。 川辺川（相良村）では、令和7年10月に下鶴地区（遊水機能）の周囲堤が完成し、令和8年3月に黒石地区（遊水機能）の周囲堤が完成しているほか、令和7年8月に平川地区（河川整備）の1工区護岸が完成し、令和8年1月から2工区護岸工事に着手した。	河川海岸総務費のうち P335 ～ P337 河川改良費のうち P338 ～ P339														
			事 業 名	決 算 額	箇 所 名	河川改修事業費	539,912	川辺川 外6河川	直轄事業負担金	1,877,207	球磨川川辺川ダム 外1河川	単県河川改良費	966,904	川辺川 外11河川	河川掘削事業費	476,188	川辺川 外12河川	
			事 業 名	決 算 額	箇 所 名													
			河川改修事業費	539,912	川辺川 外6河川													
			直轄事業負担金	1,877,207	球磨川川辺川ダム 外1河川													
			単県河川改良費	966,904	川辺川 外11河川													
			河川掘削事業費	476,188	川辺川 外12河川													
			4 砂防激甚災害対策特別緊急事業等 令和2年7月豪雨により激甚な土砂災害が発生した区域において、再度災害を防止するため砂防施設整備や避難体制強化等の「球磨川水系流域治水プロジェクト」に沿った取組みを推進した。	砂防費のうち P339 ～ P341														
			事 業 名	決 算 額	箇 所 名	砂防激甚災害対策特別緊急事業	1,641,472	簸瀬川（芦北町）外6箇所	砂防事業	4,546,554	万江川（山江村）外2箇所							
			事 業 名	決 算 額	箇 所 名													
砂防激甚災害対策特別緊急事業	1,641,472	簸瀬川（芦北町）外6箇所																
砂防事業	4,546,554	万江川（山江村）外2箇所																
5 直轄道路災害復旧事業 豪雨により被災した球磨川に架かる10橋については、道路法に基づく国の権限代行により復旧事業に取り組んでいる。昨年度までに西瀬橋（人吉市）、沖鶴橋（球磨村）、天狗橋（人吉市）、松本橋（球磨村）、坂本橋（八代市）の5橋が完成し、残る5橋全てについて、上部工工事を推進するなど、復旧・復興に向けた取組みを促進した。	河川等補助災害復旧費のうち P406 ～ P408																	
6 災害公営住宅等の早期完成に向けた市町村への技術支援 災害公営住宅等の早期完成に向けて、市町村への技術支援を実施した。 ・全12地区282戸の全てが完成																		

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名																			
(施策2) 災害に強い県土づくり 施策2－①防災力の強化	1,755,381	1,155,303	1 住宅耐震化緊急促進事業 布田川・日奈久断層帯をはじめとする今後発生しうる大地震に備えるため、木造住宅の所有者に対し、耐震診断及び耐震改修を支援した。 <table><tr><th>区 分</th><th>件 数</th><th>決 算 額</th><th>内 容</th></tr><tr><td>耐震診断</td><td>378件</td><td rowspan="2">61,773</td><td rowspan="2">熊本市 外30市町村</td></tr><tr><td>耐震改修</td><td>131件</td></tr></table> 2 危険地区からの移転促進事業、がけ地近接等危険住宅移転事業 土砂災害から県民の生命・身体を守るため、土砂災害特別警戒等区域内の居住者に対し、住宅の撤去及び土砂災害警戒区域等外への移転を支援した。 <table><tr><th>事 業 名</th><th>決 算 額</th><th>内 容</th></tr><tr><td>危険地区からの移転促進事業、がけ地近接等危険住宅移転事業（建築課）</td><td>5,563</td><td>熊本市</td></tr><tr><td>土砂災害危険住宅移転促進事業（砂防課）</td><td>21,590</td><td>熊本市 外7件</td></tr></table> 3 道路施設保全改築費（道路災害防除）、単県道路災害防除費 緊急輸送道路の防災点検要対策箇所の整備を行った。	区 分	件 数	決 算 額	内 容	耐震診断	378件	61,773	熊本市 外30市町村	耐震改修	131件	事 業 名	決 算 額	内 容	危険地区からの移転促進事業、がけ地近接等危険住宅移転事業（建築課）	5,563	熊本市	土砂災害危険住宅移転促進事業（砂防課）	21,590	熊本市 外7件	建築指導費のうち P327 建築指導費のうち P327 砂防費のうち P339 ～ P341 道路維持費のうち P330 ～ P332 道路新設改良費のうち P332 ～ P334
区 分	件 数	決 算 額	内 容																				
耐震診断	378件	61,773	熊本市 外30市町村																				
耐震改修	131件																						
事 業 名	決 算 額	内 容																					
危険地区からの移転促進事業、がけ地近接等危険住宅移転事業（建築課）	5,563	熊本市																					
土砂災害危険住宅移転促進事業（砂防課）	21,590	熊本市 外7件																					

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
施策２－②防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備	65,655,651	37,088,781	1 国直轄事業負担金、道路改築費（再掲）（P94に記載）	道路橋りょう総務費のうち P329 ～ P330 道路新設改良費のうち P332 ～ P334
			2 橋りょう補修事業 県管理の道路橋において、老朽化対策として橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁点検結果を踏まえて補修を実施した。また、緊急輸送道路上の橋梁について、優先度を踏まえて耐震補強を推進した。	道路新設改良費のうち P332 ～ P334 橋りょう維持費のうち P334 ～ P335 道路新設改良費のうち P332 ～ P334
			3 道路施設保全改築費（国土強靱化分） 災害リスクを踏まえ、防災・減災、国土強靱化を推進する観点から、災害多発区間における落石や斜面崩壊に対する防災対策、老朽化したトンネルや道路附属施設の補修等を行った。	河川改良費のうち P338 ～ P339 河川等補助災害復旧費のうち P406 ～ P408
			4 河川等災害復旧事業等 令和２年７月豪雨及び令和７年８月豪雨等により被災した公共土木施設の早期復旧を図るため、復旧工事を推進した。	
			5 土地区画整理事業 災害からの復興に向けて取り組む益城町木山地区の被災市街地復興土地区画整理事業について、令和８年３月末までに、全体の約６割となる 276 画地を権利者に引き渡した。	土地区画整理費のうち P349 ～ P351
			6 街路整備事業のうち県道熊本高森線（（都）益城中央線外 1 線）（再掲）（P95に記載）	街路事業費のうち P351 ～ P352

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名																	
(施策２－②防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備)			7 河川改修事業等 県民の生命・財産を守るため、流域治水の理念の下、堤防・遊水地整備等のハード対策を推進した。また、既存の河川管理施設や海岸保全施設の延命化を図るための補修修繕・機能回復・強化を実施した。 併せて、洪水災害等に対する警戒・避難活動を支援するため、防災情報システムの改修やダム警報局の改善を行うなど、ソフト対策の充実を図った。	河川海岸総務費のうち P335 ～ P337 河川改良費のうち P338 ～ P339 海岸保全費のうち P341 ～ P342																	
			事 業 名	決 算 額	箇 所 名	河川改修事業費	4,086,062	大鞘川 外 26 河川	直轄事業負担金	4,692,014	緑川 外 6 箇所	単県河川改良費	4,463,426	関川 外 55 河川	海岸堤防等老朽化対策緊急事業費	366,384	新開海岸 外 6 海岸	堰堤改良費	906,249	市房ダム 外 5 箇所	
			事 業 名	決 算 額	箇 所 名																
			河川改修事業費	4,086,062	大鞘川 外 26 河川																
			直轄事業負担金	4,692,014	緑川 外 6 箇所																
			単県河川改良費	4,463,426	関川 外 55 河川																
			海岸堤防等老朽化対策緊急事業費	366,384	新開海岸 外 6 海岸																
			堰堤改良費	906,249	市房ダム 外 5 箇所																
			8 国直轄事業負担金、港湾環境整備事業、港湾整備事業	港湾建設費のうち P344 ～ P345																	
			(1) 八代港 国直轄事業において、船舶の大型化に対応する水深 14m 航路の整備に向け、浚渫土砂の処分先となる大築島南土砂処分場の整備を推進した。 県事業において、航路や泊地の機能維持、港湾施設の長寿命化のための工事等を推進した。																		
(2) 熊本港 国直轄事業において、港内静穏度確保に資する防波堤（南）の整備を推進するとともに、物流・防災拠点機能の向上に繋がる耐震強化岸壁の工事を推進した。 県事業において、航路や泊地等の浚渫土砂の安定的な処分場確保に向け、土砂処分場の延命化対策（圧密促進）を推進した。 その他、航路や泊地の機能維持、港湾施設の長寿命化のための工事等を推進した。																					

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名																											
(施策２－②防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備)			9 砂防関係事業 県民の生命・財産を守るため、土石流、地すべり、がけ崩れに対する土砂災害防止施設を整備した。 また、戦略的な維持管理のための緊急改築事業や土砂災害警戒区域等の指定促進及び各種情報の発信等による警戒避難体制の強化を図った。	砂防費のうち P339 ～ P341																											
			<table><tr><th>事 業 名</th><th>決 算 額</th><th>箇 所 名 等</th></tr><tr><td>直轄事業負担金</td><td>1,207,703</td><td>川辺川直轄砂防、阿蘇山直轄砂防</td></tr><tr><td>砂防事業</td><td>4,546,554</td><td>中登川（宇土市）外 39 箇所</td></tr><tr><td>地すべり対策事業</td><td>480,813</td><td>上久保（天草市）外 7 箇所</td></tr><tr><td>急傾斜地崩壊対策事業</td><td>1,646,512</td><td>折地（熊本市）外 50 箇所</td></tr><tr><td>砂防激甚災害対策特別緊急事業</td><td>1,641,472</td><td>簸瀬川（芦北町）外 6 箇所</td></tr><tr><td>土砂災害警戒避難対策事業</td><td>338,065</td><td>基礎調査 167 箇所</td></tr><tr><td>緊急改築事業</td><td>1,004,562</td><td>萩原川（玉名市）外 87 箇所</td></tr><tr><td>火山噴火警戒避難対策事業</td><td>7,028</td><td>阿蘇山噴火に起因する災害への減災対策</td></tr></table>		事 業 名	決 算 額	箇 所 名 等	直轄事業負担金	1,207,703	川辺川直轄砂防、阿蘇山直轄砂防	砂防事業	4,546,554	中登川（宇土市）外 39 箇所	地すべり対策事業	480,813	上久保（天草市）外 7 箇所	急傾斜地崩壊対策事業	1,646,512	折地（熊本市）外 50 箇所	砂防激甚災害対策特別緊急事業	1,641,472	簸瀬川（芦北町）外 6 箇所	土砂災害警戒避難対策事業	338,065	基礎調査 167 箇所	緊急改築事業	1,004,562	萩原川（玉名市）外 87 箇所	火山噴火警戒避難対策事業	7,028	阿蘇山噴火に起因する災害への減災対策
			事 業 名		決 算 額	箇 所 名 等																									
			直轄事業負担金		1,207,703	川辺川直轄砂防、阿蘇山直轄砂防																									
			砂防事業		4,546,554	中登川（宇土市）外 39 箇所																									
			地すべり対策事業		480,813	上久保（天草市）外 7 箇所																									
			急傾斜地崩壊対策事業		1,646,512	折地（熊本市）外 50 箇所																									
			砂防激甚災害対策特別緊急事業		1,641,472	簸瀬川（芦北町）外 6 箇所																									
			土砂災害警戒避難対策事業		338,065	基礎調査 167 箇所																									
			緊急改築事業		1,004,562	萩原川（玉名市）外 87 箇所																									
			火山噴火警戒避難対策事業		7,028	阿蘇山噴火に起因する災害への減災対策																									
			10 災害関連緊急砂防事業 令和 7 年 8 月豪雨により土石流が発生した大谷川（八代市）外 3 箇所について、人家等の保全を図るため、緊急に砂防施設の整備を推進した。		砂防費のうち P339 ～ P341																										
			11 災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業 令和 7 年 8 月豪雨によりがけ崩れが発生した上豊内 1（甲佐町）外 1 箇所について、人家等の保全を図るため、緊急に急傾斜施設の整備を推進した。																												
			12 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 令和 7 年 8 月豪雨により発生した小規模ながけ崩れや擁壁等の被害が生じた箇所における市町村の対策事業について、米山－ 1 地区（玉名市）外 12 箇所に補助し整備を推進した。																												

(土 木 部)

(単位：千円)

主 要 な 施 策	予 算 額	決 算 額	施 策 の 成 果	目 名
(施策3) 健康で長寿な社会の実現 施策3－②地域共生社会の実現	44,818	15,931	1 高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業 高齢社会に対応した高齢者向け住宅の供給を促進するため、住宅供給を行う民間事業者等に対し助成を行った。 ・見守り付き住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業補助 1件 9戸 ・高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助 3件 38戸	住宅建設費のうち P355 ～ P356
(施策4) 安全・安心の地域づくり 施策4－③交通安全意識の普及啓発の促進	3,308,419	2,081,003	1 道路施設保全改築費（通学路緊急対策・自転車走行空間整備（再掲）（P92に記載）） 令和3年6月28日に千葉県八街市で、下校中の小学生の列にトラックが衝突し、5名が死傷する交通事故が発生したことを受け、市町村立小学校の通学路について、教育委員会・学校、PTA、道路管理者、警察等による通学路の合同点検を実施した箇所の安全確保を目的として、歩道整備やカラー舗装等の整備を行った。 また、歩行者と分離された自転車走行空間を整備した。	道路新設改良費のうち P332 ～ P334